

私たちは、生活している中でさまざまな「傷つき」を体験してしまうことがあります。虐待、いじめ、DV、性暴力…それは「生きづらさ」につながり、さまざまな困難をもたらします。けれども安心安全な〈場〉で人に支えられることによって、少しずつ回復することは可能です。正しい知識を持って傷ついてしまった人と関わり、安心安全な〈場〉を社会のなかに埋め込んでいく人を増やしていくことを目的とした講座です。

2025 年 4月 27日 (日)

開場 9:45 開始 10:00～

前半 1 時間、講演

後半 30 分グループ交流

山形市男女共同参画センター
「ファーラ」5 階 視聴覚室



入場無料

対象者 / どなたでも OK

QRコードから参加申込ください

主催／特定非営利活動法人 Sisterhood

問合せ／sisterhood.npo@gmail.com

性暴力被害当事者が語る、 トラウマの影響へのバリアフリー トラウマインフォームド・ケア



八幡 真弓 (she/her,feminist)

Praise the brave 代表、#remetoo (ハッシュタグキャンペーン) 発信者。宮城県出身、現在は東京都を拠点として活動。DV・性暴力被害者支援員。トラウマフォーカス認知行動療法修了、TI (Trauma-Informed) サポーター / TI コーディネーター認定取得。こころのケアとレジリエンス研究センター 事務局長、STAND Still 東京 (性暴力サバイバーが写真を通して表現する活動) 理事



Sisterhood

特定非営利活動法人 Sisterhood



lit.link/sisterhood

「女性の抱える〈生きづらさ〉とは？」

わたしたちは山形市八日町で、若年女性の居場所づくりにとりくんでいる特定非営利活動法人 Sisterhood です。このたび、困難を抱える女性の支援活動にたずさわる人を育て、増やしていくための学びと交流の場を山形市緑町にて開催しています。

第1期となる1～3月には、「人を傷つけない〈支援〉とは？」と題して、暴力性を伴いがちな〈支援〉という営みについて、そうならないための方途を障害学や社会学の知見から学んできました。

第2期となる5～7月には、「女性の抱える〈生きづらさ〉とは？」と題し、女性の抱える困難の実情とその背景・要因などを社会学の観点から学んでいきます。各回の内容は、以下のとおりです。

第1回 2025年5月25日 ㊤ 10:00-12:00

なぜ女性はこんなにも忙しいのか？——「性役割分業」の社会学

第2回 2025年6月22日 ㊤ 10:00-12:00

なぜ女性はこんなにも貧しいのか？——「女性の貧困」の社会学

第3回 2025年7月27日 ㊤ 10:00-12:00

なぜ女性はこんなにも暴力にさらされているのか？——「性暴力」の社会学

会場はすべて、遊学館2階 学習室（男女共同参画センター）

山形県山形市緑町1丁目2-36



参加無料 ※連続の参加でなくてもかまいません。1回だけの参加も大歓迎です。

対象者 / 性自認女性、X ジェンダー、ノンバイナリーの方

QRコードから参加申込ください



講師 滝口克典

1973年生まれ、東根市出身。山形市在住。東北芸術工科大学、東北文教大学など9校で非常勤講師（社会学、社会教育など）をつとめる。不登校支援 NPO、若者支援 NPO の活動を経て、現在はジェンダー平等 NPO 「特定非営利活動法人 Sisterhood」 事務局長をつとめる。居場所づくりが専門。現在、山形新聞にて「多文化ヤマガタ探訪記」を連載中。



Sisterhood
特定非営利活動法人 Sisterhood



※この連続講座は、休眠預金を活用した民間公益活動として、当該助成金を活用して制作されました。
事業名：若年困難女性の孤立防止と経済的自立支援
指定活用団体：一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA） 資金分配団体：公益財団法人地域創造基金さなぶり